

さがみ縦貫高架下な どの土地利用実現へ



海友ク

市川敏彦

問：さがみ縦貫道路について、過去幾度となく一般質問がされています。初期の段階では、用地買収や工事の概略が主な話題でした。海老名市内のさがみ縦貫道路の工事がほぼ全域にわたって実施されている現状では、高架下の利用や周辺の土地利用など具体的な話題が中心となってきました。高架下および周辺の土地は、利用可能であれば地域にとっても大切な空間で、ゲートボール場や広場として利用が可能と考えます。しかし、該当する地域では高架下および周辺の土地利用については状況をj知する機会がありません。市では、高架下および周辺の土地利用をどのように考えているのか伺います。

答（市長）：高架下および周辺の土地利用は、市と地域にとって重要なことなので、土地利用が出来るのであれば、ぜひ利用したいと考えており、日本道路公団に対しては、以前から高架下利用の要望をしてきました。従来、公団は高架下の利用について消極的でしたが、昨年10月の民営化後は市の利用計画を踏まえて高架下の利用を進めるとの方針に変更しています。このため、庁内関係課で、市民が策定委員会とすれば、市民が策定に対する提言をまとめる場が必要です。（仮



建設が進むさがみ縦貫道路

総合計画策定に 責任ある市民参画を



ネット

三谷裕美子

問：総合計画は、まちづくりの根幹を成す基本計画で、市民主体で作ることが望まれます。一部あるいは地域限定の計画にのみ市民参画を図るのではなく、基本構想の段階から市民参画を図り、議論を尽くし、市民提案としてまとめたものを提出することが、責任ある市民参加のあり方と考えます。最終段階の決定の場合、策定委員会とすれば、市民が策定に対する提言をまとめる場が必要です。（仮

市内業者育成の観点 で入札制度改善を！



海友ク

高橋 進

問：平成17年度から条件付一般競争入札に移行し、工事・委託では、10ポイント落札率が低下しました。これは市外業者の参入機会の増加し、競争性が増したことによると思います。他に市に比べ開かれた入札制度とありますが、市内業者育成の観点から、案件を絞ったうえで指名競争入札を行う考えはありますか。また、行政は適正な金額で適正なものを作成させることが基本ですが、現在設定されている最低制限価格を引き上げる考えはありますか。

答（市長）：条件付一般競争入札により、参加業者増加、落札率の大幅低下等が見られ、公平・公正で競争性が確保されたと考えます。

答（総務部長）：昨年度は、全発注件数の74%の案件が市内業者による入札でした。今年度からは、市内業者は本店・支店を区分し、併せて参加できる設計金額の区分を引き上げました。今後とも市内業者の育成に

南部地域、乗合タクシーの実現はいつ？



共産党

重田保明

問：平成17年の3月議会で南部交通不便地域の乗合タクシーの実現について質問した際、市は「引き続き検討する」と答弁され、12月議会でも「早い時期に方向性を示す」と答弁されました。今定例会では、18年度上半期までに方向性を示し、手法については、ゼロ

市の将来見据え 路線バスに注目を



公明党

鈴木輝男

問：将来の高齢化や環境問題から、路線バスに注目すべきであり、市からバス会社に働きかけ、協力して利用者の増加に直結するバス停の屋根（上屋）設置は、雨天時や夏の日差し対策に有効です。これらの整備促進を始め、バス事業全般に

答（市長）：高齢化が進む中で、路線バスの活性化は渋滞緩和や環境面からも大切な位置づけになるものと考えています。

答（まちづくり部長）：現在は、課題ごとに協議を進めていますが、今後、バス事業者との協議の場をつくりながら、協議機関の設置を検討していきたいと考えています。

インターネット 中継で議会傍聴を

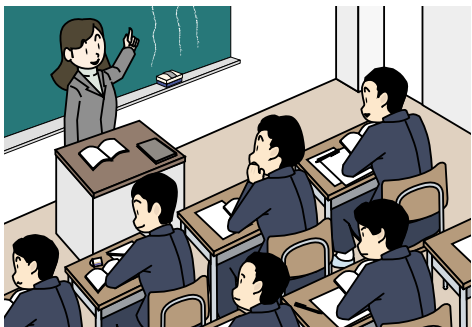
市議会が、自宅に居て傍聴することができるようになったのをご存知でしょうか。

海老名市議会 広報委員会から

海老名市議会で、今年3月からインターネット中継を行っています。市のホームページから市議会インターネット中継で生中継を見ることが出来ます（現在は閉会中のため録画中継のみ放映です）。

特に、議会での一般質問は、各議員の主張がよく表れるところであり、答弁は、市長や行政の姿

非常に、インターネット中継で議会傍聴をし、情報を得ていただき、海老名市のまちづくりに大いに参画していただきたいと思っています。



中学生の問題行動 どう対処するか！



市政ク

坂本俊六

問 昨年、バイクの窃盗容疑で、県内の青少年13名が逮捕、このうち10名が市内在住の少年であり、8名が市内中学校の3年生、さらに、今年に入って市内中学生が4名逮捕、補導され

答（教育長） 予防的教育としては、学校生活で生徒と教師の信頼関係の構築を図り、積極的な関わりあ

非常勤講師3名を市内中学校3校に配置しましたがその現状と、今後ほかの3校についても配置する予定がありますか。また、中学生になると不登校が増えたり、問題行動も多くなる傾向があります。これらの問

問：平成17年度の3月議会で南部交通不便地域の乗合タクシーの実現について質問した際、市は「引き続き検討する」と答弁され、12月議会でも「早い時期に方向性を示す」と答弁されました。今定例会では、18年度上半期までに方向性を示し、手法については、ゼロ

問：将来の高齢化や環境問題から、路線バスに注目すべきであり、市からバス会社に働きかけ、協力して利用者の増加に直結するバス停の屋根（上屋）設置は、雨天時や夏の日差し対策に有効です。これらの整備促進を始め、バス事業全般に

答（市長）：高齢化が進む中で、路線バスの活性化は渋滞緩和や環境面からも大切な位置づけになるものと考えています。

身近な市民の足

